


氏名・職名	岡村 美好 准教授	
キーワード	デザイン, 問題解決, 思考方法, ユニバーサルデザイン, マネジメント, 人材育成	
ホームページ	http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~miyoshi/miyoshi.html	
所属学会	土木学会, 日本福祉工学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本デザイン学会	
受賞歴	土木学会賞田中賞(公益社団法人 土木学会)(2001年), 土木学会第46回構造工学シンポジウム論文賞(公益社団法人 土木学会)(2000年)	
研究者から一言	<p>「技術で勝って、事業で負ける」と表現されるモノづくり, 少子化による人口減少, 想定外の被害が生じた東日本大震災, 等々, 今の日本は様々な問題に直面しています。これらの問題の解決方法として、「デザイン」に着目しています。</p> <p>ここでの「デザイン」とは、意図を持って新たなモノ・コトを作り出す行為であり思考でもあります。「デザイン」によって細分化された技術や学問を統合することで、多くの問題が解決できると考えています。</p> <p>分野に関係なく、お手伝いできることがあるかもしれませんので、一度お声をかけてください。</p>	



「技術で勝って、事業で勝つ」ために

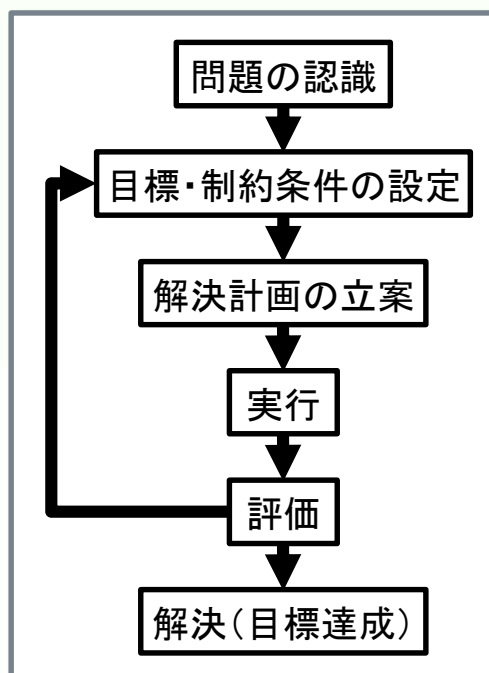
問題解決方法としての「デザイン」に関する行為と知識に関する研究

最近では、様々な場面で「問題解決」という言葉が使われます。また、私たちの日常の様々な行為も問題解決であるといわれます。しかし、問題とは何なのか、何をどうすれば問題解決なのか等を、意識されることは少ないのではないのでしょうか。

最善の解決方法を選択するための「デザイン」に関する知識と行為を体系化することを目指しています。

問題解決できる技術者育成するためのエンジニアリングデザイン教育

社会の様々な問題を解決できる技術者, 自ら学び続ける自律した技術者の育成を目指して, 心理学などの観点からエンジニアリングデザイン教育について研究しています。



問題解決のプロセス



「誰でもトイレ」のユーザビリティ調査

「誰でもトイレ」は「誰にとっても使いやすいもの」とは限りません。適切な位置に設置されていない各種機器、区別のつきにくい数多くのボタン。身体状況によっては、「誰でもトイレ」の使用を避ける人もいます。利用者の身体特性や行動特性に基づくトイレのデザインについて検討しています。



「誰でもトイレ」のボタンと説明

車いす・ベビーカーの走行に適したブロック系舗装に関する研究

ブロック系舗装の目地等の段差は、車いすやベビーカーなどの振動の原因となり、時にはケイレンなどの症状を引き起こします。これまでに、車いすやベビーカーの加速度応答の測定・分析により、ブロック系舗装を通行するときの振動特性の把握、乗り心地の評価手法の提案、およびブロック舗装諸元と乗り心地の関係を明らかにしています。

ユニバーサルデザインは問題解決の方法です

大学での研究活動の他に、ユニバーサルデザインに関心のある人たちと「山梨ユニバーサルデザイン研究会」を立ち上げ、山梨県内の公共施設についてユニバーサルデザインの観点からの調査や検証、設計段階でのコンサルティング、啓発活動などを行っています。

ユニバーサルデザインは人が係るあらゆる分野の問題を解決する方法です。様々な問題への応用が可能ですので、ぜひお問い合わせください。

